

アライグマ捕獲調査の概要（速報）について

特定外来生物に指定されているアライグマの生息状況を把握するため、アライグマ捕獲調査を実施しました。

1 捕獲調査

- 1) 調査期間：平成26年5月19日（月）～6月2日（月）の14日間
- 2) 調査場所：平成25年度自然環境調査（センサーカメラ）でアライグマの生息が確認された5地区に17個のわなを掛けた。
- 3) 調査方法：箱わなを用いた方法による。毎日点検を行い、誘因の餌はドーナッツを用いた。捕獲個体は現場で処分し、性別、体長、体重などを計測した。
- 4) 調査結果：南区柏原、早良区椎原、板屋地区で7頭のアライグマを捕獲した。

表 アライグマ捕獲状況

調査地区	捕獲数 (頭)	雌・雄 (すべて成獣)	捕獲効率		
			わな個数 (個)	延べわな数 (個・日)	捕獲効率 *
博多区 ^{かねのくま} 金隈	0		2	28	0
南区 ^{かしわら} 柏原	3	雌2, 雄1	3	42	7.1
早良区 ^{しいば} 椎原	3	雌1, 雄2	6	84	3.6
早良区 ^{いたや} 板屋	1	不明	4	56	1.8
西区 ^{かなたけ} 金武	0		2	28	0
合計	7		17	238	2.9

*捕獲効率＝捕獲数÷延べわな数（わな個数×わな掛け日数）×100
捕獲効率は100個のわなを掛けたときに捕獲される個体数

- 5) 考察：南区柏原、早良区椎原では、捕獲効率が高いこと及び授乳中の雌が捕獲されていることから、アライグマが定着し生息しているものと考えられる。

2 今後の対応

アライグマの生息状況や、被害の実態を把握するとともに被害の防止に努めていくため、関係機関と連絡会議を設置していく。